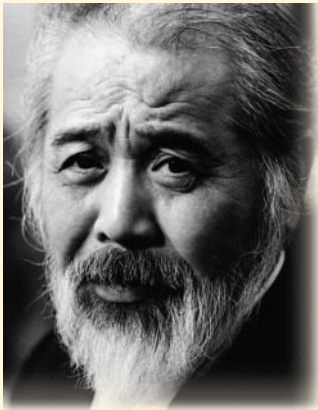


「ものと心 — デザインの今日」

栄久庵憲司デザイン講演会 in 広島

Ekuan Kenji



ものづくりは人間の文化・文明を支える基礎として長い歴史を刻んできたが、それは人間の生活を豊かにする一方で、さまざまな今的问题を生み出してきた。そこには、近代化と20世紀の積み残した多くの課題が山積している。

地球環境時代といわれるこの21世紀に、ものづくりの立場から人間の再発見を行うこと。すなわち、物を巡る文化・文明のあり方を問い直し、新しい人間像・世界像を、構築していく必要がある。それらは、必ずや日本の産業と経済の更なる発展につながる鍵となるであろう。

半世紀以上、日本のデザイン界をリードしてきた栄久庵憲司氏とGKデザイングループが、「新たな21世紀を、道具による人間復興の世紀とするための提言」を語る。

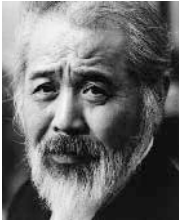


GK Design Group since 1952

■とき/ところ	2008年5月20日[火]	会場：広島国際会議場「コスモス」地下2階 〒730-0811 広島市中区中島町1-5 (平和記念公園内) Tel.082-242-7777
■プログラム	14:00 開場 14:30 開会 挨拶 14:35 第一部 / 講演「産業とデザイン」 山田 晃三 (株式会社GKデザイン総研広島取締役社長) 15:20 第二部 / 講演「ものと心 — デザインの今日」 栄久庵 憲司 (GKデザイングループ代表) 16:40 閉会 17:00 懇親会 (会場:「ラン」地下2階)	
■主催:	栄久庵憲司デザイン講演会・広島開催実行委員会 (代表:大井健次 事務局:松田共恵)	
■協力:	株式会社GKデザイン機構 / 道具寺道具村建立の会 / 道具学会	
■後援:	中国経済産業局 / 広島県 / 広島市 / 広島商工会議所 / 広島経済同友会 / (財)広島市産業振興センター / (社)中国地域ニュービジネス協議会 / 広島市立大学 / 中国・地域づくり交流会 / 広島デザイン振興機構 / 広島パブリックカラー研究会 / (社)日本インダストリアルデザイナー協会 / (社)日本サインデザイン協会 / (社)日本グラフィックデザイナー協会 / (社)日本ディスプレイ業団体連合会 / (社)広島県建築士会 / (社)日本建築家協会中国支部 / 中国新聞社 / 中国放送 / 広島テレビ / 広島ホームテレビ / テレビ新広島	
■参加費:	一般:1,000円 学生:無料 懇親会:4,500円	裏面申込書に必要事項をご記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。
■お問合せ先:	栄久庵憲司デザイン講演会・広島開催実行委員会事務局 〒730-0051 広島市中区大手町4-6-16 株式会社GKデザイン総研広島内 担当:松田共恵 Tel. 082-242-7755 Fax. 082-242-7177 E-mail: dsh@gk-design.co.jp	

「ものと心 — デザインの今日」 栄久庵 憲司 (えくあん けんじ)

「美によって具えは道を得て道具となり、人は道具によってその道を悟る。」
デザインを通じた道具づくりの世界に、半世紀を越えてたずさわってきた
経験と実績を礎に、改めて人間と道具の有り得べき姿を提言する。そこで
示される「道具寺道具村構想」は、人間と道具の正しい関係を築きあげる
場の提案であり、道具を媒体として人間の物心両面における豊かな生活実
現するための、「未来へ向けた村づくり構想」である。



栄久庵 憲司 (GKデザイングループ代表)

1929年東京生まれ。1950年広島市戒善寺住職となる。東京藝術大学美術学部図案科卒業後、1957年GKインダストリアルデザイン研究所設立。通産省デザイン奨励審議会委員、日本インダストリアルデザイナー協会理事長、国際インダストリアルデザイン団体協議会会長、世界デザイン博覧会総合プロデューサー、東京都デザインアップ委員会委員長等を歴任。現在、国際インダストリアルデザイン団体協議会名誉顧問、世界デザイン機構 (Design for the World) 会長、道具学会名誉会長等。

受賞：IDS A (米国工業デザイン協会) 世界デザイン大賞、Sir Misha Black Medal (英国) 受章、フランス芸術文化勲章 (仏国) 受章、勲四等旭日小綬章受章。

著書：「道具考」(鹿島出版会)、「幕の内弁当の美学」(ごま書房/朝日文庫)、「ものと日本人」(東京書籍)、「道具論」(鹿島出版会)、「The Aesthetics of the Japanese Lunchbox」(MIT Press) ほか。

「産業とデザイン」 山田 晃三 (やまだ こうぞう)

インダストリアル (産業) デザインは、大量生産される工業製品に「美」を
与える行為である。一方で産業の活性化のために不可欠の存在であった。
生産と消費、驚異的な速さで経済大国となった日本の来た道を振り返りな
がら、「ものづくり」の背後にある時代精神を検証したい。物質的繁栄を実
感しつつも豊かさの在りかを模索せざるを得ない現代社会の課題について
考える。



山田 晃三 (株式会社GKデザイン総研広島取締役社長)

1954年生まれ。愛知県立芸術大学美術学部卒業。1979年GKインダストリアルデザイン研究所入所。1992年GKとマツダ等との合併によるデザイン総研広島に移籍。プロダクトデザイン、情報デザイン、環境デザインの領域で総合的視点をもって活動している。日本サインデザイン協会常任理事、日本グッドデザイン賞 (Gマーク) 審査委員、広島市立大学非常勤講師等。GKデザイン機構取締役。

主な作品：新交通システム「アストラムライン」にてGマーク金賞 (通産大臣賞)。路面電車「グリーンムーバ」にてGマーク金賞。環境デザイン「秋葉原UDXビル」にてSDA賞クランプリ (経産大臣賞) など。

参加申込書

■参加申込先

栄久庵憲司デザイン講演会・広島開催実行委員会 事務局担当：松田共恵

申込締切り：5月16日(金)

Fax. 082-242-7177

E-mail : dsh@gk-design.co.jp

■セミナーに

参加します

参加しません

(セミナー参加費：一般1,000円、学生は無料)

■懇親会に

参加します

参加しません

(懇親会参加費：4,500円)

■参加者氏名

■勤務先

■所属・部署・役職

■連絡先住所

勤務先

自宅

その他

■TEL.

■FAX.

■E-mail.